
リフレイン

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
リフレイン

【Nコード】
N5034P

【作者名】
山羊ノ宮

【あらすじ】
真実は突然目の前に現れる。
現れた真実に目を疑うだろう。

眞実は突然目の前に現れる。

現れた眞実に目を疑うだろう。

だが、その眞実は目に入らなかったただけで、既に目の前にあったのだ。

時にその眞実は試練となるだろう。

人はその試練に打ち勝ち、前に進む。

だが、軟弱な私は自分を騙し、

他人をだまし、

そして、目をつむり、耳を塞ぎ、

口をつぐみ、

身を固くして、通り過ぎるのを待つのだった。

繰り返そう。

眞実は突然目の前に現れる。

「えっ・・・体重増えてる」

現れた眞実に目を疑うだろう。

「あなたー！体重計壊れてるわよー」

だが、その眞実は目に入らなかったただけで、既に目の前にあったのだ。

「あれ？二年前に買ったスカートが入らない」

時にその眞実は試練となるだろう。

「どうしよう。同窓会近いのに」

人はその試練に打ち勝ち、前に進む。

「ねえ、あなた。私って太ったかしら？」

だが、軟弱な私は自分を騙し、

「・・・（ちらり）そんなに変わらないんじゃないのか」

他人をだまし、

「そうよねー。うーん、困ったわー。ねえ、あなたも新聞ばかり読んでないで、どうしたらいいか少しは考えてよ」

そして、目をつむり、耳を塞ぎ、

「・・・」

口をつぐみ、

「もう、全く役に立たないわね」

身を固くして、通り過ぎるのを待つのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5034p/>

リフレイン

2010年12月15日01時39分発行